

令和元年度 第4回医療的ケア部会 会議録

日時：令和2年2月25日（火）10：00～11：10

場所：高松市社会福祉協議会 東館 2F 会議室

参加機関：さぬき市障害福祉課・高松市障がい福祉課・高松市こども園運営課・高松市総合教育センター・高松市保健センター・直島町住民福祉課・三木町まんでがん子ども課・高松赤十字病院・支援センターこがも・支援センターたかまつ・基幹中核

議題

1. 医療的ケア児等コーディネーターワーキング（1/21 実施）の報告

- ・Co.の配置により、連携して支援にあたることができ、窓口もはっきりする。
- NICU 退院時に、すぐに福祉につなげられるシステムづくりに取り組む。訪問看護が相談支援を探すという現状があるが、ワーキング終了後、相談支援事業所がCo.を担ったケースが1例出来た。
- 転入ケースの場合情報提供書は保健師に届くが、福祉サービスを利用していないケースは他につながりにくい現状がある。また、退院時即支援が必要であればつながりやすいが、経過を見ましようとなるケースの方が実際は多い。その場合も情報提供書は保健センターに届くため、保健センターからいずれCo.へという流れが作れるとよい。
- 小児慢性のケースが20歳になり難病に切り替わる際に、保健師の支援を希望しない（書類にチェックを入れない）ケースがある。こうなると、地区担当保健師には情報が入らなくなる。医療や福祉につながると、保健師の関わりが少なくなる傾向がある。
- ・職種による視点の違いに悩んだり、経験不足から対応に課題がある事業所もある。
- 年1回はワーキングを継続し、情報交換を行う。また、研修も企画し、コーディネーター全員がしっかりと研鑽を積むようにする。

2. 高松圏域事業所看護師研修会（2/8 実施）の報告

- ・医師法第17条、歯科医師法第17条、保健師助産師看護師法第31条の解釈、介護福祉士、介護職員ができる医療行為についての情報提供、訪看より訪問看護の現場とリスクマネジメントについて講演、Co.よりライフステージに沿って変化する家族の課題についての講演を実施。
- 圏域外からの参加者や、医ケアケースの受け入れをまだしていない事業所からの参加もあった。継続して年1回は実施したい。

3. 高松圏域において、医療的ケアの方の災害時の対応についてのワーキングを開催する

- ・2/26に初回実施予定。メンバーは高松訪看、日赤、花ファミリーケア、保健センター、支援センターこがも、協議会事務局。現状の取り組みを確認して課題を整理するもの。

4. 令和2年度の計画

- ・全体会を今年度と同様に年4回（5・8・11・2月）実施する。
- ・緊急時のこと、就学に関すること、医ケアの方が利用しやすい福祉サービスを考えること等、分科会を作り、全体会で共有するような体制をとる。後日部会長からグループ分け案を周知する。

- ・コーディネーターワーキングは、12月頃（R2年度の養成研修終了後）に実施する。
- ・看護師研修は9月頃に実施する。
- ・他、短期入所事業所に対して医療連携加算などの説明、居宅事業所に対して喀痰吸引の制度に関する説明の実施など検討したい。

5. その他

医ケア児の地元での就学に向けての体制づくりのため、就学前の医ケア児の情報を収集したい。

・どのような状態の医ケアを対象とするか。経鼻栄養や在宅酸素のみであれば、入学時には不要になっているケースもある。

→対象は後日検討の上、医療機関に情報の提供を依頼する。

【次回開催予定】令和2年5月 日時について後日周知。